

三星鹿屋

県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第75号

発行日 平成29年3月1日
 発行 県立鹿屋高等学校PTA
 発行責任者 上谷田浩幸PTA会長
 編集責任者 永田 智子広報部長
 題 字 岩元 慶也(2年5組)

1面：PTA会長・校長より～卒業生へのメッセージ～
 2・3面：保護者より～卒業生へのメッセージ～
 4・5面：3学年団・教科担任より～卒業生へのメッセージ～
 6・7面：生鮮芸術市場・長距離走大会
 8面：鹿屋市PTA研究会大会家庭教育講演会
 離任式のご案内・編集後記

御卒業

おめでとうございます

PTA会長 上谷田 浩幸

伝統ある鹿屋高校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは、入学してから校訓「知・徳・体」の名のもとに、学業に精進し、部活動に汗を流し、体育祭文化祭などの行事でも力を尽くしました。多くの友と過ごしたこの3年間は、人生の大きな糧となることでしょう。また貴方達の学生生活を支えるために、保護者の皆さんに朝早くから夜遅くまでお世話をしていたことを忘れてはいけません。感謝の心を生涯持ち続けて下さい。

この春からほとんどの皆さんは、生まれ育ったこの大隅の地を離れ、進学にせよ就職にせよ、社会に巣立っていきます。これからは何事においても自己判断により人生が左右されていきます。楽な方ばかり流されない様に、しっかりと自己をもって、常に最良の判断をして下さい。

卒業は節目ではあるが決してゴールではありません。皆さんの前にはどこまでも続く道があります。鹿屋高校生活3年間の経験を活かして三星魂を忘れることなく、遙か遠くにある目標を目指して歩いてほしいと思います。

私達保護者PTAは、いつまでも貴方達の最大の理解者であり、最強の応援団であり続けます。

『キバレ三星健児!』



繋ぐ

校長 今村 成弘

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。校歌の歌詞に「永遠の生命を三年にこめて」とあるように、仲間とともに過ごした3年間は、皆さんを大きく成長させてくれたことと思います。皆さんは、三星健児としての誇りを持ち、勉学や部活動、生徒会活動、学校行事等によく頑張ってきました。

クラスマッチや体育祭では、後輩達にクラスや学年の団結力の強さや頑張る姿を本として、示してくれました。学習面においては、「受験は団体戦」の合い言葉のもと、お互いに励まし合いながら、各自頑張ってきました。部活動においては、カヌーの全国制覇、陸上部、ボート部の全国大会出場、水泳部、吹奏楽部の九州大会出場などを始めとして、それぞれの部が大いに活躍してくれました。仲間とともに日々努力してきた三星健児の皆さんに心から感謝します。

ところで、3学期の始業式で、全日本実業団対抗駅伝と箱根駅伝を取り上げ、ひたむきに襷を繋ごうとする姿に胸を打たれることや、皆さんは、昨日の自分から襷を受けて、今日を走っており、さらには、明日を走る自分に襷を繋ぐのだ、ということを話しました。私は、「繋ぐ」ということはいろいろな場面で、非常に重要なことであると考えております。例えば、鹿屋高校の歴史と伝統を繋ぐ、人と人を繋ぐ、情報を繋ぐ、思いを繋ぐ、などなど。

卒業生の皆さんの人生が、多くの様々な繋がりによって豊かで、充実したものとなるよう願っております。最後に、皆さんのこれからの活躍を期待し、旅立つ皆さんの前途が幸多からんことを祈念いたします。

大学入試センター試験

1月14日(土)・15日(日)



大学入試の天王山でもある大学入試センター試験を3年生が受験しました。この後は各自の進路目標にむかって、それぞれの受験する大学の個別試験に臨みます。

センター試験激励会

1月10日(火)



3学期の始業式にあわせ、生徒会の主催でセンター試験激励会が行われました。生徒会長の激励のことば、3年生代表の決意のことばがそれぞれ交わされ、2年生応援団からエールがおくられました。

保護者より 卒業生への メッセージ

我が娘、高校3年間を自分自身で振り返り思いどおりの結果が出せたのだろうか。出せなかったにしても大丈夫。人生なんて終わらなきスタートの連続だから。これから5年後、10年後、もっと先の人生に行き着いたところで自分自身に納得できることができれば……。今後も期待しています。3年間いろいろな思い出をありがとうございます。
ご指導いただいた先生方、保護者の皆様方、そして友人の皆さんお世話になりました。心からお礼申し上げます。

吹き出すような汗が出た暑い日も、どしゃ降り雨で道路が川のようになっていた日も、風が強くて倒れそうになった日も、凍えそうな寒い日もほぼ毎日自転車を通い続けた娘。鹿屋高校に通ったからこそ見えてきた将来。障害物を乗り越えたり踏みとどまったりしながら同じ方向の目標に向かう友人に恵まれ有意義な高校生活を送っていた。素晴らしい先生方に支えていただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



文化祭

宿泊学習

入学式

「鹿屋高校で野球をしたい」という息子の思いから受験、入学したのがついこの間のような気がします。合格者説明会では、親子で「場違いのところに入學してしまったね」と苦笑いをしながら先生方の説明を聞いたのを覚えています。入学してから、毎日を楽しそうに過ごしながらも、時には必死に、時には手を抜きながら頑張っている息子を応援し、3年間過ごすことができました。遠征、勉強……大丈夫かな、と不安に思うことも多々ありましたが、クラスの間、野球部の仲間、先生方に支えられ、ここまで来られたことに感謝しています。これからもこの良い経験を通して苦しいときも乗り越えていってほしいと思います。

体育祭の時、3年生全員が朝礼台の前に集まり、大きな声で歌っている姿が目につかびます。青春っていいなあと思います。この3年間で共有してきたさまざまな体験が貴重な財産となり、これからの人生を支えてくれることでしょう。共に頑張ってきた仲間同士でこれからも支え合い、励まし合います。3年生の皆さん、卒業おめでとう。御指導くださった先生方、ありがとうございました。

3年間大変お世話になりました。無事に卒業を迎えられます。体の不自由さはありませんが、担任の先生をはじめ多くの先生方、お友達に支えられ、また励まされてここまで来られたと思います。まだ進路は決まっていますが、これからも一生懸命頑張ってくれることを期待しています。皆様本当にありがとうございました。

正しく文武両道の充実した3年間でした。1、2年次は部活動に明け暮れ、帰宅後は課題に追われ寝過ぐすこともありました。そんな日々も乗り越え3年生へ進み受験勉強の日々。朝早くから夜も遅くまで頑張っていました。ここまで順調にこられたのもご指導いただいた先生方のお力添えや、同じ境遇の仲間達のおかげだと思います。本当に、あつという間の3年間でした。ありがとうございました。

高校に入学して部活動に明け暮れた日々は楽しかったなあ。3年生になり、和田りん号という名の列車に親子で乗車。和田りん号は力強く私たち親子をぐいぐいと引っ張ってくれました。いろいろな思いを乗せて一致団結で突っ走った3年2組。そろそろ終着駅です。楽しかった高校生活も終わりが近づいていますが、お世話になった多くの方々に感謝です。素敵な時間をありがとうございました。

鹿屋高校に入学してから、あつという間に3年が過ぎ、もうすぐ卒業式を迎えようとしています。先輩方のアドバイスを聞きながら鹿屋高校を信じて、夜遅くまでこつこつと頑張ってきましたね。部活動では10代ならではの貴重な仲間をつくることができました。支えてくださった先生方、クラスメイトの皆様、本当にお世話になりました。春からのそれぞれの人生が、素晴らしいものになりますように祈っています。

あつという間に3年間が終わろうとしています。高校生活は、楽しいことも、嬉しいことも、苦しいことも、悩んだことも、たくさんありましたね。あなたをそばで見続け、応援できたことが、何よりの幸せでした。どんな時でも支えてくださる先生方、そして何でも話せる友達に出会えたおかげで、休むこともなく過ごせました。ありがとうございました。

修学旅行



体育祭



クラスマッチ



サッカー部1年生歓迎会の際、私は「お弁当作りを3年間頑張ります。」と発言しました。今日はどうしようかなあと思った朝も、宣言したのだからと心切りかえはば毎日お弁当を作ることができました。目標を持つこと、そしてそれを発言することの大切さを知りました。子ども達の「文武両道」の頑張る姿に親も力を頂いた一日一日でした。今この時この瞬間を共に生きた先生方、仲間達、3年間ありがとうございました。

学業、部活動と充実した時間を過ごすことができた。友達や先生方との出会いにより多くの刺激を受け、心豊かに成長できた3年間であったことと、思います。卒業を迎え、娘が鹿屋高校の制服を着ている姿を見られなくなるのは少し寂しい気がしますが、新たなスタートを迎える我が子の背中を後押ししたいと思えます。がんばれ。

初めて鹿屋に引っ越してきて、鹿屋高校に入学し、3年が経とうとしています。本人も慣れていない土地での進学で最初は不安があったようですが、高校での新しい友達や出合いで本人も少し変わってきたと思います。3年になってからの病氣入院で最後まで心配はしましたが、先生方のご指導のおかげで友達と一緒に無事卒業の日を迎えました。3年間で学んだ経験を今後の人生で生かしてほしいと思えます。

将来の夢、就きたい職業も未確定なまま鹿屋高校へ進学しました。同じ思いの同士と巡り会い、担任の先生をはじめ、諸先生方の熱い思いに触れ、目標を定め必死に勉強に打ち込む姿に感謝の気持ちでいっぱいです。時には迷い立ち止まる時、親として一緒に不安になるなか、担任の先生の的確なアドバイスに、気持ち新たに前に進む我が子の成長を感じ、育てていただいたと実感しております。本当にありがとうございました。



1組

2組(担任) ワダリン

大切なのは、
目配り
気配り
心配り

2組(副担任) 黒木

卒業おめでとうございます。
これからが自分の夢へ
向かっての本当の勝負です。
よく学び、よく遊び、
自分の夢を叶えてください。

3組(担任) 脇

Keep looking!
Don't settle!
(by Steve Jobs)
69期生のこれからに
幸あれ!!

4組(副担任) 楸田

自分から感動する
～主体的に
生きてほしい～

5組(担任) 児嶋

卒業おめでとう
遅くしなやかに
生きましょう。

5組(副担任) Kariya

It is Love that makes
the world go around.

7組(副担任) 楠元

祝・卒業!
「剣一本でも、
この瞳に止まる人々くらいなら、
なんとか守れるでござるよ。」
(『智弘セレクト! 漫画名言集II』より抜粋)
剣心の“剣”にあたる何かを、
この先見つけて下さい。元気でね!

(養護) 大木

卒業
おめでとうございます。
勇気と希望を持って
進みましょう。

(進路) 市来

祝 卒業
あなたが決める
あなたの人生
一步一步を大切に!

(地理) 牧之瀬

只今がその時
そのときが只今。
「葉隠」より

(保健体育) 下窪

祝
新たなスタートラインに
立つことができましたね。
卒業おめでとう!!

(保健体育) 村瀬

今、また新しいスタートです。
希望を持ち
豊かな人生と
なりますように。



1056日の旅

3学年主任 田島 徹也

卒業おめでとうございます。これから大学の合格発表という人も多いので、まだ落ち着かない時期ですが、もうすぐ「旅」の終点です。4月、入学式、269名で出発した「旅」は君たちに様々な試練を与え続けたことでしょうか。考えてみれば、「旅」は計画どおりに進まない、思いどおりにならないことばかりです。そして、困ったときには誰かに助けを求めます。つまり、旅の途中では、必ず人との関わりが不可欠で、誰にも頼らずに旅が進むことはないのです。勉強は個人でするのだから人には頼らない、という考えの人もいるでしょう。でも、君たちは3年前の3月に「旅」することにした、つまり、人との関わりで自分を成長させる道を選んだことになるのです。鹿屋高校の「旅」は君たちを確実に成長させたことと断言できます。自分に自信を持ってこれからの社会へ羽ばたいていってください。旅の終わりは、次の旅の始まりでもあるのです。

卒業生へのメッセージ ～三学年団・教科担任より～

1組(担任) 中村

あなた以外には
誰も歩むことができない
唯一の道を
ひたすら進もう!
卒業おめでとう。

1組(副担任) 大山

もっと前へ

1組(副担任) 田代

我以外皆我師

3組(副担任) 又木

Go Forward!!
前へ

3組(副担任) 日高

明るく元気な
69期の皆さん。
遅く自分の人生を
切り拓いて
いってください。

4組(担任) 東

三星魂を胸に!

6組(担任) 岩崎

笑顔でがんばれ

6組(副担任) 田尻

卒業おめでとう!
自分らしい前向きな
人生を!

7組(担任) 北園

卒業おめでとう!
これからの人生、順風満帆に
いかないこともあるかもしれませんが、
遠回りしてもいいから、
焦らず、ゆっくりといろんな景色を
見ながら前に進んでください。

(日本史) 横山

2つの道があるとき
簡単そうな道より、難しそうな道
を選んでみて下さい。
その選択が自分を成長させて
くれるはずだから。

(地学) 谷

卒業おめでとう
これからも頑張ろう!

(生物) 吉留

卒業おめでとう。
大きな節目であるとともに
新たなスタートですね。
頑張ってください。

2017年1月26日(木)~1月30日(月)

生鮮芸術市場



吹奏楽部

部長 赤瀬川 梨々
(2年5組)

1月29日に生鮮芸術市場で吹奏楽コンサートを行いました。コンサートではたくさんの方に来ていただき、私たちも楽しんで演奏することができました。今回の生鮮芸術市場で私たちは周りの方々に支えられて活動できていることを改めて実感することができました。私たちのモットーである「何事にも120%で取り組む」ことを忘れずに日々の練習を頑張っていきたいと思えます。



美術部

部長 久保田 佳奈
(2年5組)

私たち美術部は、似顔絵コーナーと作品展示をやらせていただきました。お客様に来ていただけたら、満足していただけるかなど不安もたくさんありましたが、多くのお客様に来ていただき、また、私たちが描いた似顔絵を笑顔で受け取って帰っていかれる姿を見ると、ほっとし、開催して良かったな、と思うことができました。中には、「まだ生鮮芸術市場は続いているんですね。」と嬉しそうに話すお客様もいらして、今後も生鮮芸術市場で多くのお客様に楽しんでいただければいいな、と感じました。



書道部

部長 溝 望
(2年7組)

私たち書道部は、作品展示とパフォーマンス揮毫を行いました。パフォーマンスでは不安と緊張がありました。最後まで楽しみなが、揮毫することができました。また、沢山の方から展示やパフォーマンスについて「素晴らしい」と声をかけていただき、今後の活動の励みになりました。これからも、一人一人がよりよい作品を作り上げることができるよう、更に、見て下さる方々に喜んでいただけるよう皆で頑張っていきたいと思えます。



長距離走大会

12月1日(木)

寒空の中、天候にも恵まれ開催されました。1年生と2年生がそれぞれ参加し、男子が10kmを、女子が5kmをそれぞれ走りました。保護者や地域の方々からも温かい声援をおくっていただき、誠にありがとうございました。今後ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



順位	学級	氏名	タイム
1年女子(5km)			
1	1	藤山 雛菜乃	21:24
2	3	田中 莉央	21:24
3	3	倉岡 萌々	21:44
2年女子(5km)			
1	4	迫 七夏	20:37
2	2	山崎 未桃	21:11
3	3	福山 未来	21:49

順位	学級	氏名	タイム
1年男子(10km)			
1	5	郷原 大晴	36:48
2	8	赤池 友樹	36:49
3	8	瀬戸 勝喜	37:53
2年男子(10km)			
1	6	中村 修平	35:44
2	6	中畑 敏哉	35:57
3	1	永田 大武	36:34



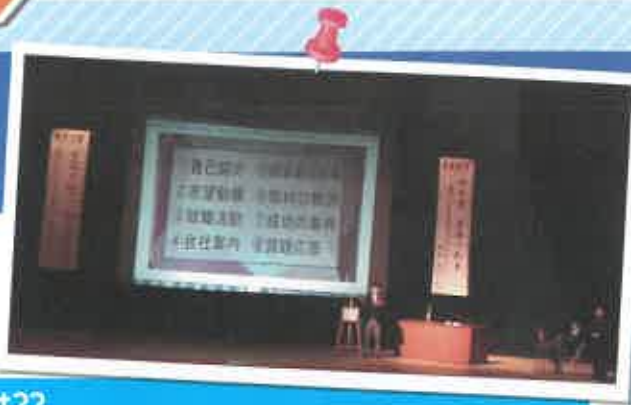
親子間のコミュニケーションが学力向上を促進！？

第21回

鹿屋市PTA研究大会 家庭教育講演会

平成29年1月21日(土)

1月21日(土)、鹿屋市文化会館にて、鹿屋市PTA研究大会ならびに家庭教育講演会が開催されました。小学校(小規模校,中・大規模校),中学校,高校の4部会による研究発表と,KYTアナウンサーの岡本氏による基調講演があり,とても充実した研修の機会となりました。



鹿屋高校生と保護者間のコミュニケーションの実態は??

家庭環境や家庭内のコミュニケーションと子どもの学力との関係性については,過去に様々な研究や報告がなされています。今回,高校部会は,鹿屋市内の高校生(2年生)とその保護者の間におけるコミュニケーションの実態調査を実施,今後の課題についての検討を行い,その結果を上記大会において発表しました。

鹿屋高校における生徒と保護者の間のコミュニケーションの実態はどのようなものとなっているのでしょうか。生徒の調査結果について,以下にその傾向を挙げます。

・全体的に生徒と保護者の間のコミュニケーションは,良好に行われているといえる。

全体的にポジティブ(肯定的)な回答の割合が市内平均のものより高い割合となっています。鹿屋高校内でみると,男子生徒の回答は女子のものと比較してポジティブな回答の割合がわずかに少ない結果となっています。やはり思春期の男子,仕方のない結果でしょうか。

・「1日の中で家族そろって食事をとることがあるか」との問いに対して,鹿屋高校では82%の生徒が「毎日」または「ひんぱんに」,18%が「たまに」または「まったく」と回答している。

家族そろっての食事はコミュニケーションの基本です。生徒・保護者ともに忙しい中でも,週に数回は食事のタイミングを揃えたいところです。

・「学校での出来事を話すか」との問いに対して,鹿屋高校では男子生徒の46.3%,女子生徒の73.7%が「毎日」または「ひんぱんに」と回答している(鹿屋高校全体では,61.2%)。

やはり男子生徒の割合が低いです。みなさんの御家庭ではどうですか?ちなみに,「たまに」「まったく」と回答している生徒の割合は学校全体で38.4%でした。

・「自分の意見を親に言えるか」との問いに対して,鹿屋高校では95.8%が「はい」と回答している。

かなり良好な結果だといえますが,4.2%の生徒が「いいえ」と回答しています。その理由として,「あまり話を聞いてくれない」「言ったとしても意味がない」と回答している生徒もみられました。

・「何でも相談できる人はいるか」との問いに対して,鹿屋高校では約90%の生徒が「いる」と答え,約10%の生徒が「いない」と回答している。

良好な結果と言えますが,1割の生徒が「相談相手がいない」と考えているということは,学校・保護者ともに事実として重く受け止めなければいけません。相談相手で最も回答が多かったのが「保護者」で108名,それとほぼ同数で「親友」が100名,「先生」が14名,「SNS」が7名という結果でした。悩み事の相談相手としての「保護者」と「親友」の重要性がわかる結果といえます。

それぞれの御家庭の状況もあると思いますが,簡単な毎日のあいさつなどからコミュニケーションを見直してみませんか。



編集後記

平成28年度最終号をお届けします。たくさんのご協力のもと,今年度も無事に「三星鹿屋」を発行することができました。部員の皆さんには,1年間,新聞発行のためにご多用の中,多くの時間を費やしていただきました。心から感謝いたします。今回新聞づくりを通して,たくさんの方の保護者や先生方,また,外部の方々とお話をさせていただく機会に恵まれました。その中で,誰もがPTA活動の充実や子ども達の将来を真剣に考えていることに改めて気づかされました。さまざまなお知らせも掲載できたらと思います。1年間,広報部活動にご協力とご理解をいただき本当にありがとうございました。

広報部長 永田智子

担当職員

牧之瀬・高橋・西中川・山口

広報部員

坂口(3・3)・鶴田(3・4)・徳留(3・4)
 永田(2・1)・有村(2・2)・朝倉(2・3)
 岡富(2・4)・二松(2・5)・宮崎(2・7)
 中畑(1・1)・二村(1・2)・吉永(1・2)
 平野(1・3)

離任式のご案内

日時 3月27日(月) 9:30～

場所 鹿屋高校体育館

平成28年度の離任式が行われます。長年本校で勤められた先生方との大切なお別れの会です。現役生徒のみならず,卒業生や保護者の皆様も是非ともご来校ください。